



読字英原田 親

No. 622

2010/11/ 25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0045 東京都千代田区
西船場1-1-1 東武ビル43階

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256
岡山市浜3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-0011
倉敷市連島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0860416-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



「日本語教室・岡山の会」開講6周年の集い 帰国者と講師が楽しく交流

11月21日、岡山市高島公民館で中国帰国者の日本語教室・岡山の会「開講6周年の集い」が、倉敷教室、総社教室の参加を含む62人で開催されました。

参加者は、来賓として迎えた岡山市福祉援護課の神原さん、日中友好協会岡山支部の竹内理事長を除くと次のような内訳になります。

帰国者22人、講師31人、留学生4人、その他3人。

集いは、日本語・中国語の歌、二胡とハーモニカの演奏、寸劇、手品、体験発表とそれぞれの教室からの出し物、さらにビンゴゲームなどがあり、坪井さんと黄さんの軽妙な司会のもと、楽しい交流の場となりました。

同時に坪井さんは日中友好

新聞おかやまの内容を紹介しながら日本と中国との間に生じた諸問題に対する両国政府の対応のまずさから、日中関係が厳しい時に開催された集いは、草の根の友好として大切にしなければならぬ。」と強調されました。

最後に聚仙閣(帰国者が経営)の弁当を美味しくいただきました。

日中岡山事務局長 小林軍治

集いの詳細や参加者の感想など次回以降に掲載します。

高知支部太極拳20周年記念講習会 出席へのお礼状

朝晩の冷え込みも増し、高知武道館前の銀杏並木も色づきはじまりました。

皆様には大変お忙しい中、高知支部20周年記念大会にお越し戴き誠にありがとうございました。

おかげさまで講習会、祝賀会、表演を楽ししい中にも太極拳の奥深さを改めて感じる二日間でした。

高知教室一同さらに精進し、日々の練習に取り組んでまいりますので今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

写真ができましたので同封いたします。一段と寒さが厳しくなっておりますが、どうぞお体を大切になさり、ますますのご活躍をお祈り致します。

2010年11月12日
太極拳高知支部事務局
日中友好協会岡山支部御中



倉敷日本語教室 ギョウザを食べる会



倉敷日本語教室では、去る10月21日、ギョウザを食べる会をしました。日頃マンツーマン方式の勉強をしているため、みんなが顔を一同に合わせるのがとても難しいのですが、この日は一人を除き全員が集まりました。

鳴井さん、湯口さんの手慣れた手作り餃子に舌鼓を打ちました。新しく加わった2人の講師団の歓迎会にもなりました。

山縣武次郎

年末にむけて、何かと出費のかさむころでしょう。日中岡山支部は、6月の全国大会のあと第一回理事会で、来年の大会までの拡大目標を会員9人増、準会員(読者)12人増、季刊中国2人増と決めて、がんばっています。

現在プラス、マイナス0です。会費等の滞納が約20万円あります。理事・監査などのみなさんの集金活動で大変助かっています。配達集金にお力添えをいただければ幸いです。

事務所なし、専従なしの支部ですから、みんなボランティアで動いています。

会員を増やして、県連合会を作り、会費の値下げができるようにしたいものです。

竹内和夫

望年会のご案内

今年もあと1ヵ月余りになりました。毎年恒例の「日中友好望年会」を下記のようにおこないます、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

【日時】 12月11日(土)午後4時～6時

【場所】 岡山県民主会館
(岡山市北区下伊福町1-53)

【参加費】 2,000円

【お申込み】 日中岡山事務局長

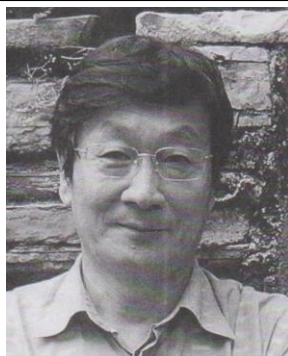
小林軍治
(TEL/FAX)086-277-2470
(携帯電話)090-8240-2001

おながい 会計から

第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演・28



徐 鵬飛

にもありませんよ。これは人民日報の増刊が始まって、「風刺とユーモア」という会社で毎週でるんです。世界各地の漫画事情や漫画をのせている。これの編集長をやっているんですよ。

彼（徐鵬飛）は、どんな苦しい事があっても平気だという顔をしている。一方どんな楽しい事があっても平気だという顔をしているんです。中国だけじゃなくて、世界でもただ一つ、週刊の漫画新聞というのがあるんです。ヨーロッパにもありません。日本

彼が北京の人民日報に引き抜かれて、漫画新聞の創立にかかわって、これを増やすためにがんばって、今年でちょうど30年です。今は、人民日報から独立して、「風刺とユーモア」という別の会社になっている。形としては人民日報です。人民日報というのは中

国共産党の機関紙で、中国最大の部数を誇っているんです。そこが30年前に漫画新聞を週刊で出すというのは、発想としてはすごいと思いますね。

日本でも色々な新聞の日報で漫画を使っていますけど、漫画だけの日曜版というのは、昭和6年ごろに読売新聞が、新興勢力としてのしていたために、オールカラーの週刊の漫画新聞を出したことがあるんです。新聞拡大のためね。それは正力松太郎が警視庁をやめて読売新聞の社長になったころです。「蟹工船」の時代に、警視庁あがりの社長の新聞社が、左翼の漫画家に書かせている。それだけ自由だった？

つづく

九条の会第10回 憲法セミナー 核のない平和な世界と憲法9条に参加して ②

日中岡山9条の会 真田

平岡 敬氏の講演について

マスコミ九条の会の代表として、戦争をしようとする者に荷担しないという志をかかげている。今、マスコミが盛んに「日米同盟を守れ」、「米軍がおこっている」と報道している。尖閣問題がこじれると米軍が喜ぶ。

日米同盟以外の安全保障を持つことを考えなくてはいい。アメリカが9月に臨界前核実



平岡 敬氏

験を行ったとき、日本に事前通告はなかった。アメリカは日本を重視していない。

アメリカは日本に核兵器を使用した事をあやまらなくてはいい。なぜ戦争がなくならないのか。

- 1、利益を得る人がいる
- 2、武器がある
- 3、大国、小国の力の差がある
- 4、メディアが報道する

(マスコミの責任)

日本国憲法は大変進んだ憲法だと、私たちは胸をはればいい。

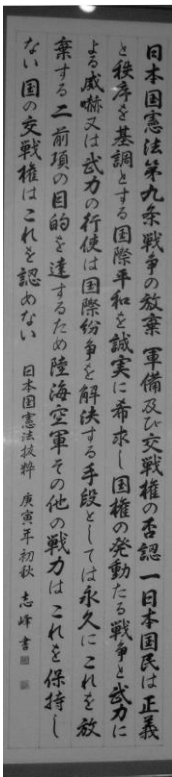
私も戦争中は軍国少年だった。情報があやつられていたからで、教育がいかに大切であることを示している。

メディアの中にも志をもった人がいる。その人たちを励まし激励してほしい。

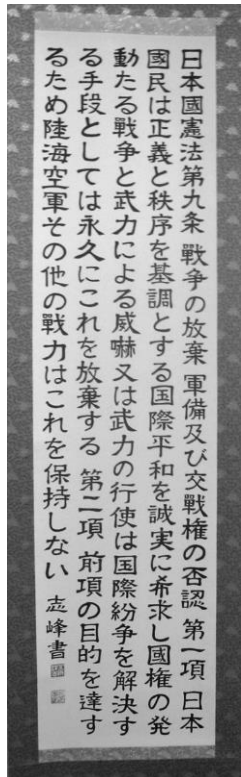
しかし現役のマスコミ人はサラリーマン化していて、特に若い人が九条の会には入ってこない。

書道展に出品 「憲法9条全文」を

高梁の条の会の小阪洋志さん



行書



隷書体

お元気ででしょうか。

小生まだまだ書道の修業中ですが、今年9月と10月に開催された 高梁書道連盟展」と 養和書道院展(岡山市で)、そして 高梁総合文化祭書道展」に、平和の願いを込めて 憲法9条全文」を書いた作品を出品しました。

誠に愚作ですが、それぞれ字体を「行書」「隷書」で書きましたのでご覧いただき、ご批評いただけましたら幸甚です。

作品を見ていただいた多くのみなさんが 憲法9条が大切なことは知っていたが、全文を読むのは初めて。一字一句いい条文ですね」と感想を述べられていました。

なお、俳優の宝田 明さんが『ついでに元氣』という月刊誌(編集・全日本民主医療機関連合会)10月号に 憲法9条は世界の宝」と題して、エッセイを寄稿されましたので、その一部を紹介します。(別添)

これから寒さが増してきます。どうぞご自愛のうえご活躍ください。

小阪 洋志

俳優・宝田明さんのエッセイ

憲法9条は世界の宝だ

戦争はしちやいけくない。日本の憲法9条は世界に冠たる戦争の歯止めです。(中略)

無辜(むご)の人々を犠牲にする者は、大罪の責任をとるべきです。

イラク戦争もそうです。アメリカはいまでも過ちを犯しています。

『ゴジラ』は、ビキニ水爆実験から生まれた映画です。原爆という大量破壊兵器に対する警告だったのです。

(日本は)唯一の被爆国だから言えることがある。30万人もの人間を一瞬の内に殺す爆弾を

つくってはいけない。核戦争が起きたら地球なんて吹っ飛んでしまいます。

武力で日本は守れません。高価な戦闘機を増やしても、海に囲まれ、1億2千万人もいる日本を守れっこない。それより一般民衆にお金を使えばいい。アジアの貧しい国々にも、途中で搾取されないよう援助すればいい。井戸を掘り、緑を増やすなど、やれることはいくらでもあります。

日本を守るなら、武力とは違う方法で守った方がいいのです。戦争が起る前に行動するのが外交、政治でしょう。平和国家を堂々と宣言し 真摯にどんなに平和を追求している。日本にはつけない余地がない」と思われるような国になつてもらいたい。

宝田 明さん・俳優

1934年生まれ。中国・ハルビン出身。

1954年 『ゴジラ』で初主演。2006年から、いものちの大切さをうたったミュージカルに精力的にとりくみ全国を巡演。今年8月にはニューヨーク公演で成功を収められました。芸術祭奨励賞、ゴールデンアロー賞受賞。

次回の新聞発送作業は

12月1日(水)午後1時半、民主会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方で

林本内内井垣 小杉竹竹坪三